

No.481

2018年4月

とやま
キバネツノトンボは富山にいる？

キバネツノトンボという、トンボに似た虫がいます(図1)。名前は「黄色の翅を
した角(触角)があるトンボ(のような虫)」という意味です。トンボに見えますが他人
の空似で、科学的にはウスバカゲロウ(“アリジゴク”の正式名)の仲間です。この虫、
富山ではとても珍しく、今から74年前に富山市猪谷の河原(おそらく神通川のこ
とでしよう)で採集された標本がたった1頭あるだけで、その後、見つかっていませ
ん。キバネツノトンボは今でも富山にすんでいるのでしょうか。気になります。

★キバネツノトンボはどんな場所にいる？

ススキが生える原っぱや河原で見られますが(図2)、全国的に珍しい虫です。成虫
は4~6月に現れ、よく晴れた日には群れて飛び回ります。黄色と紺色の後翅が目立ち、
飛ぶ姿がとても美しい虫です。

★キバネツノトンボは今も富山にいる？

もし富山で再び見つかれば大発見なの
で、私は去年の春、猪谷~富山空港周
辺の神通川や、小矢部市の丘陵地をくまなく探
してみました。しかし、不思議なことに、
キバネツノトンボが好きそうな原っぱがあ
るにも関わらず再発見できませんでした。

74年前の標本は偶然遠くから飛んできた
個体かもしれません。もしくは、かつて猪谷
周辺だけにすんでおり、なにかの理由で絶
滅してしまったのかもしれません。でも、
ひょっとしたら皆さんの家の近くでひっそ
りと生きているかもしれません。見つけた
方はぜひ教えてください。

(昆虫担当 岩田朋文)

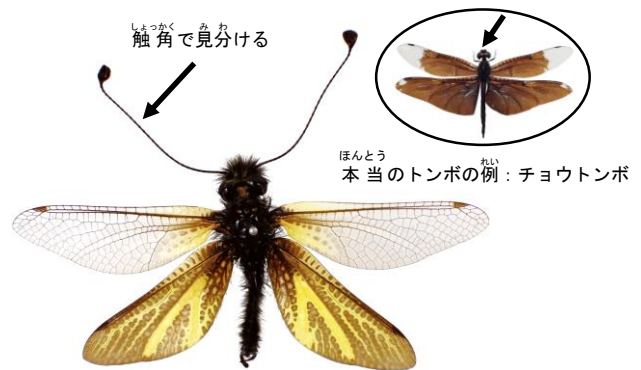


図1 キバネツノトンボ



図2 生息環境と生態写真(埼玉県)

※とやまサイエンストピックスのカラー版を当館ウェブページに公開